

記 載 例

第1号様式(第5条関係)

年 月 日

武蔵村山市長 殿

申請者(代表者)

住 所 武蔵村山市学園4-5-1

氏 名 村山 太郎



補 助 金 等 交 付 申 請 書

令和●年度補助金等について、下記のとおり申請します。

記

| | | | | |
|----------------|--|-------|---------------|-----------|
| 補助事業等の名称 | 武蔵村山市地域介護予防活動支援補助事業 （「お互いさまサロン」●●の運営） | | | |
| 補助事業等の目的 | 介護予防体操や脳トレを行い、介護予防や地域の交流の場づくりを目的とする。 | | | |
| 補助事業等の内容 | 月1回90分間、住民や外部講師による介護予防プログラムを実施する。 | | | |
| 補助事業等の計画 | 毎月第2水曜日 午前10時から11時30分まで 市民総合センターにて活動する。 | | | |
| 補助事業等の効果 | 介護予防、認知症予防が期待される。また、地域高齢者の交流を図り閉じこもりを防止する。 | | | |
| 補助事業等の 財源内訳 | 自 己 財 源 | そ の 他 | 市 補 助 金 | 合 計 |
| | 24,000円 | 0円 | 50,000円 | 74,000円 |
| 算 出 基 礎 | 収支予算書のとおり | | | |
| 着 手 日 年 月 日 | 令和●年●月●●日 | | 完了予定 年 月 日 | 令和○年○月○○日 |

補助事業等の収支予算書 別紙のとおり

(日本産業規格A列4番)

記載例

第1号様式（第7条関係）

団体概要書

| | | | |
|----------------------------|---|-------------|------------------------------------|
| 団体名 | 「お互いさまサロン」 ●● | 事務局の連絡先 | 武蔵村山市学園 4-5-1 市民総合センター内 高齢福祉課 |
| 代表者名 | 村山 太郎 | 代表者の住所・電話番号 | 武蔵村山市学園 4-5-1 電話番号 042-590-1233 |
| お互いさまリーダー名 (2名以上) | 村山 太郎、村山 花子 | | |
| 主たる活動場所 (例:〇〇会館) | 市民総合センター | 所在地 | 武蔵村山市学園 4-5-1 |
| 参加見込人数 (スタッフ含む) | 10人/回 (うち65歳以上5人/回) | 活動回数 | 12回/年 |
| 次年度以降の継続について | 継続する ・ 継続しない | 新たな参加者の受入体制 | チラシ・声かけ・その他 () |
| 活動実績 | 1 新規 2 既に実施（令和▲年から実施） | | |
| 緊急時の連絡先や対応策の確保について | 参加者名簿を作成し、事務局で管理。 地域包括支援センターと連携し、見守り安心カード作成を勧奨。 規約の事故発生時の対応参照。 | | |
| 活動内容（該当する活動にチェックし、その概要を記載） | <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくりに役立つ活動 要介護状態の予防又は状態を悪化させないように体操の実施や高齢者の栄養改善を目的とした料理づくり、料理教室など | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症予防に役立つ活動・認知症の人の交流 高齢者の認知症を予防するために地域住民や子どもとふれあう交流会や趣味活動など | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他の活動 上記のほか、高齢者の介護予防に役立つ活動など | | |
| | 活動の概要 月1回 第2水曜日 午前10時から11時30分まで 市民総合センターにて活動 介護予防体操と脳トレを行い、楽しみながら親睦を深める。 | | |

(日本産業規格A列4番)

記載例

第2号様式（第7条関係）

事業計画書

| | | |
|----------|---|---------------|
| 活動計画 | 毎月第2水曜日 市民総合センターにて活動 10:00～10:30 介護予防体操（お互いさま体操） 10:30～11:30 脳トレ、講座など | |
| | ※ 別紙（任意様式）に活動計画を記載し、本書に添付しても差し支えありません。 | |
| 主たる活動場所 | 施設名 | 市民総合センター |
| | 所在地 | 武蔵村山市学園 4-5-1 |
| | 電話番号 | 042-590-1233 |
| | 会場借上料 | 1回 450円 |
| 参加者見込数 | 10人 | |
| 参加者負担金額 | 1人当たり1回 200円 | |
| 補助金の交付方法 | 確定払い ・ 概算払い | |

（日本産業規格A列4番）

記 載 例

第3号様式（第7条関係）

収支予算書

<収入の部>

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 内 訳 等 |
|--------|----------|--------------------------|
| 市補助金 | 50,000 円 | |
| 参加者負担金 | 24,000 円 | 参加費 1 回 200 円×10 人×12 か月 |
| その他 | | |
| 合 計 | 74,000 円 | |

参加費を徴収している場合は、必ず記入してください。
※支出は原則、自己財源から優先して差し引きます。

<支出の部>

| 項 目 | 金 額 | 内 訳 等 |
|----------|----------|-------------------------|
| 報償費（謝礼） | 20,000 円 | 講師謝礼 5,000 円×4 回 |
| 旅費（交通費） | | |
| 消耗品費 | 15,000 円 | 文具、プリンターインク、コピー用紙、消毒液 |
| 印刷製本費 | 5,000 円 | コピー代 |
| 通信運搬費 | 2,000 円 | 切手代 |
| 使用料及び賃借料 | 5,400 円 | 市民総合センター 1 回 450 円×12 回 |
| 保険料 | 3,600 円 | 30 円×10 人×12 回 |
| その他 | 23,000 円 | 脳トレドリル、書籍 |
| 合 計 | 74,000 円 | |

(日本産業規格A列4番)

内訳は必ず記入してください。
<収入の部>の合計と<支出の部>の合計が合うように記載してください。